

花火の「星」天日干し 北九州



夏の花火シーズンを前に、北九州市小倉南区の花火製造会社「ワキノアートのファクトリー」で、打ち上げ花火の中に詰める火薬の玉「星」の天日干し作業が行われている。写真。

花火の色を出す星は、「火薬師」と呼ばれる職人が火薬などを配合した原料を何層も重ねては乾燥させる作

業を1週間から2か月繰り返す。星を1.3・6センチの球状にし、中心の火薬の周りに最大約300個を詰めて花火玉に仕上げる。

9.30センチ程度の花火玉約3万発を製造し、同市門司区と山口県下関市で開かれる「関門海峡花火大会」など約50か所で打ち上げられる予定。